

3. 学習支援のヒント - 夢や希望を描く後押しをする

一般社団法人子どものエンパワメントいわて

【事例】 1年半学校に通えなかった中学生たちが、フットサルの活動を支援者、大学生、時にはプロ選手と継続した。この活動を通して、自分の気持ちを表現したり、何かに打ち込むことができるようになった。そうした関わりから徐々に学習にも意欲が湧き、1年半後、高校進学が決まり、これから始まる高校生活について、自らの言葉で目標を語ることができた。

→学習の前提として、自分自身を表現できる安心感と、意欲を引き出す夢や希望を持てることが大切

→1つの形にこだわらず、様々な活動に取り組む仲で生徒の意欲を刺激すること